

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	利用者の気持ちや思いに気付けない	全ての職員が認知症についての基本的な理解ができ、利用者との信頼関係が築ける。	ケア会議・内部研修での勉強会を増やすと同時に外部研修への参加を促す。利用者の気持ちを把握できるようにプリントなどを使用し工夫していく。日々の業務の中でも気が付きが出来るよう助言したり、話し合いをする。	12ヶ月
2	25	認知症についての理解が乏しい			
3		(評価)外部研修への参加は困難であったが、B-3シートの活用などで利用者の気持ちの理解に努めた。支援困難な案件には職員間で検討することで、現在は支援困難もなく、利用者も落ち着いて生活ができている。 また担当利用者に寄り添える関係が築けているが、身体面での専門的なケアとしては不十分なところがある。			ヶ月
4		認知症としての対応を意識するあまり普段のコミュニケーションが困難になっている場面が見られる為、認知症である前に、一人の人として関係を築いていけるように指導していく必要がある。また、専門職として、すべてのケアに意味があることを理解する必要がある。			ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(2))

事業所 グループホームのどか

目標達成計画

作成日: 令和3年3月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	担当の利用者以外にも目を向ける必要がある。	利用者の思いをチームワークで支援していく。	ケア会議や、伝達ノートを活用し担当者だけでなくチームとしてケアをしていく。 リーダー、サブがクッション役となり全体の把握、共有をしていく。	12ヶ月
2					
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月